

No.146  
**県議会**  
**とちぎ**

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20  
 TEL 028-623-3772  
 FAX 028-623-3755  
 E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp  
 HPアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>

# 第387回通常会議(令和4年5月30日~6月17日)

## 栃木県一般会計補正予算、栃木県都市公園条例の一部改正等を可決

第387回通常会議では、知事から栃木県一般会計補正予算など17件の議案の提出及び13件の報告があり、審議に当たり質疑・質問や委員会審査が行われました。また、議員から原油価格・物価高騰等に対する支援の拡充を求める意見書など2件の議案が提出され、全て原案のとおり可決されました。請願・陳情は、2件が継続審査となりました。補正予算においては、新型コロナウイルス感染症

に関し、今後の感染拡大に備えるため、自宅療養者の健康観察体制の充実を図るとともに、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会における感染防止対策を強化するほか、物価高騰に直面する生活困窮世帯の負担軽減を図るための事業や、原油・原材料の価格高騰により影響を受けている中小企業・小規模事業者や農業者、交通事業者等への支援を行うための事業などが盛り込まれました。

- ### 可決された主な議案
- 令和4年度栃木県一般会計補正予算(第1号及び第2号)
  - 栃木県議会議員及び栃木県知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
  - 栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について
  - 栃木県手数料条例の一部改正について
  - 栃木県県税条例及び栃木県地方活力向上地域における県税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について
  - 栃木県都市公園条例の一部改正について
  - 栃木県人事委員会委員の選任同意について
  - 県有財産の取得について

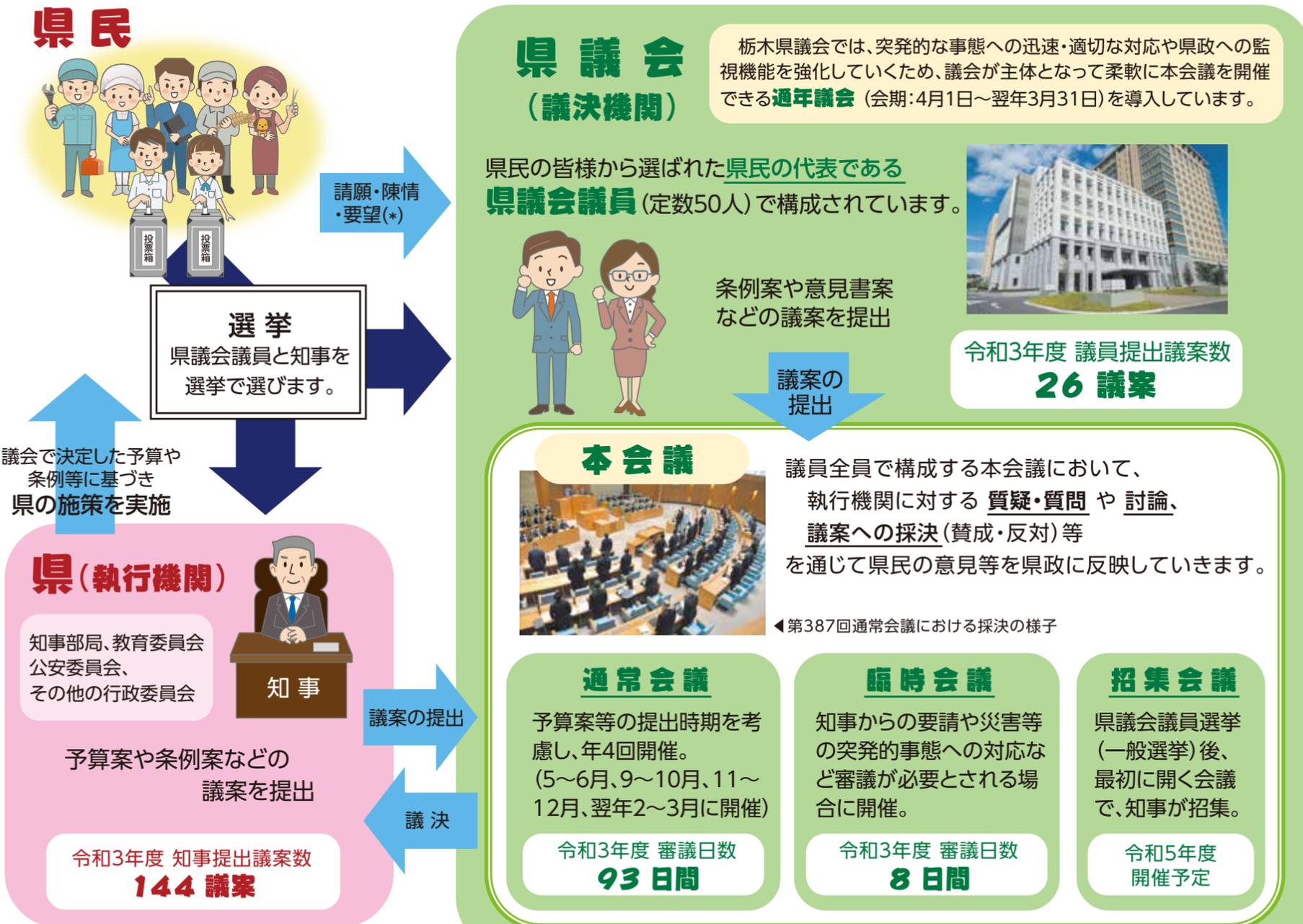
- ### 可決された意見書
- 原油価格・物価高騰等に対する支援の拡充を求める意見書
  - 水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書



## とちまるくんのなるほど! 県議会 ~県議会の役割について~



県議会は「議決機関」として、県民の願いを実現するためにどのように県政を運営していくのか話し合っ決定していく重要な役割を担っています。県議会で決定されたことは、知事をはじめとする「執行機関」において実行され、それぞれが独立した機関として、互いに協力して県政運営を行っています。



(\*) 請願・陳情・要望 については4面も併せてご覧ください。



# 第387回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容



代表質問 (6/1)  
こばやし みきお  
**小林 幹夫**  
(とちぎ自民党)  
[鹿沼市]



## ○デジタルの力を活用した地方創生

**問** 国が「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けて動き出したこの機を捉え、デジタルの力を活用した更なる地方創生にどのように取り組んでいくのか。

**答**【知事】オンラインによる移住相談の拡充、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会での来県者を対象とするデジタルクーポンを活用した栃木ファンの拡大等により、本県への新しい人の流れを確かなものとするとともに、とちぎデジタルハブやとちぎビジネスAIセンターの取組強化による魅力ある地域や産業の創出、GIGAスクール構想の推進による次代を担う人材育成等に取り組むなど、デジタルの力を活用した地域の課題解決や魅力向上に取り組んでいく。

## ○グリーン社会の実現に向けた取組

**問** どのような方針でグリーン社会の実現に向けた新たな条例の制定を進め、カーボンニュートラルの実現につなげていくのか。

**答**【知事】幅広く意見を聴き、県民、事業者等の理解と共感を得ながら、県が掲げる目標達成に向けたビジョンを共有し、オールとちぎで取り組む機運を醸成する条例とする。基本理念に加え、エネルギー消費の抑制や再生可能エネルギーの導入拡大のほか、脱炭素化の動きを捉えた県内産業の成長や環境教育・学習の推進など、県が実施する基本的な施策等を位置づけ、県民共通の指針として、カーボンニュートラルに向けた取組を展開し、グリーン社会の実現につなげていく。

このほか 新型コロナウイルス感染症対策、災害等から県民の安全を守る県の対策など

一般質問 (6/1)  
なかや だい  
**中屋 大**  
(民主市民)  
[小山市・野木町]



## ○地方創生臨時交付金を活用した原油価格・物価高騰対策

**問** 物価高騰による本県への影響をどのように捉え、どのような考えで地方創生臨時交付金を活用した補正予算を編成したのか、また、国の総合緊急対策で本県に配分された臨時交付金のうち約14億円を今回の補正予算に計上したが、未活用分について今後どのように活用していくのか。

**答**【知事】国の総合緊急対策に呼応した支援を実施するとともに、本県の実情を踏まえながら、物価高騰の影響を緩和する対策をきめ細かに講じる必要があると考え、臨時交付金を活用して補正予算を編成した。今後も、県内における影響を的確に把握しながら、

臨時交付金を活用し、必要な対策を講じていく。

## ○高校における給食

**問** 温かく栄養バランスの良い給食が導入されることで、高校生に生涯にわたる食習慣を身に付けさせることができ、さらに、保護者の負担軽減や、農畜産物の地産地消にもつなげることができるため、本県高校における給食の実現に向けた取組を始める必要があると考えるがどうか。

**答**【教育長】県教育委員会ではこれまで、市町教育委員会と連携しながら、食育の充実や地産地消の推進に取り組むほか、地元食材の活用を通じ地域への理解促進にも努めてきた。本県全日制高校への給食導入については、市町教育委員会の意向等も踏まえながら、必要性を研究していく。

このほか カーボンニュートラル実現に向けたJ-クレジット制度の活用 の推進、教員の働き方改革の推進など

一般質問 (6/1)  
しおだ ひとし  
**塩田 ひとし**  
(県民)  
[足利市]



## ○アフターコロナにおける国の在り方

～首都機能移転に向けた取組～

**問** 政治・行政・経済が一極集中する東京で首都直下地震が起きた場合、全国的な社会混乱が避けられず、コロナ禍の収束を見据えた今、首都機能の分散配置に向けた議論を再開すべきである。そこで、首都機能移転の推進の考え方と、全県的、全国的な機運の醸成に向けた今後の取組について伺う。

**答**【知事】国の動きを注視しながら、引き続き国会において議論が進展するよう働きかけるとともに、様々な機会をとらえて本県の強みをアピールするなど、国会や中央省庁をはじめとする首都が有する機能の本県への分散配置

に向けて粘り強く取り組んでいく。

## ○公共施設等の在り方

**問** 県有財産総合利活用推進計画(第2期)では、柱となる3つの考え方「総量最適化」、「効率的な利活用」、「保全・長寿命化」があり、そのうち総量最適化において、「統廃合・廃止検討」とされた施設については、県民の理解を得ることが重要であるが、どのように県民の理解を得て総量最適化を進めていく考えか。

**答**【経営管理部長】県有施設のうち「統廃合・廃止検討」とした施設については、地元や影響を与える関係者に対し、丁寧な説明や意見交換を行うなどして方針に対する理解を得よう努めている。各施設の状況や県民への影響を的確に把握し、県有施設の総量最適化を進めていく。

このほか 地域主権型社会の実現に向けた取組、無人自動運転移動サービス実証実験の取組など

一般質問 (6/3)  
なかじま ひろし  
**中島 宏**  
(とちぎ自民党)  
[宇都宮市・上三川町]



## ○いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の成功に向けて

～安全・安心な両大会の開催に向けて～

**問** 大勢の来場者が予想される両大会の安全・安心な開催に向けては、感染症や災害等の様々なリスクを想定し、問題発生を前提に、大会運営者が状況を正確に把握した上で課題を特定して、優先的にどのような準備や対策を講じておくかが重要だが、両大会のリスクマネジメントにどのように取り組むのか。

**答**【国体・障害者スポーツ大会局長】様々なリスクへの対処方針を定めた各種計画等を警察や消防等と連携して整備した。競技会場となる市町でもリスクへの備えを進めており、感染防止対策についても主催者間で協議してい

る。リハーサル等を通じてリスク対応を検証し実効性を高め、来場者の安全・安心を第一に万全の準備を進める。

## ○医療的ケア児に対する支援

**問** 日常的に人工呼吸器が必要な医療的ケア児の特別支援学校への受入協議に時間がかかった。親子の意向を尊重し、一人ひとりの教育的ニーズに対応できる体制整備が重要であり、ニーズを把握し、支援を拡充させながら適切に対応すべきだが、今後どのように取り組んでいくのか。

**答**【教育長】看護師配置など環境を整備してきたが、今年度から、対象幼児を早期に把握し、就学に向けたきめ細かな検討を行う時間を確保するため、調査対象を5歳児から3歳児以上に拡大した。受入環境の向上を目指し、医療、福祉等関係機関との連携を深め、安全・安心な学校生活を送れるよう努める。

このほか 若者の移住・定住促進、本県における産業の発展を目指してなど

一般質問 (6/3)  
のむら せつこ  
**野村 せつ子**  
(共産党)  
[宇都宮市・上三川町]



## ○「生理的貧困」への支援の強化

**問** 市町の小・中学校における支援状況を独自に調査したところ、生理用品を保健室で提供している市町が大部分を占めていた。対面での提供に抵抗感を感じて我慢してしまう子どもがいることが懸念されるため、県立学校と同様にトイレへの配置を行うなどして、子どもたちが不安なく学校生活を送れるようにすべきと考えるが、市町に取組の実施を働き掛け、支援していく考えはないか。

**答**【教育長】保健室における相談支援を充実させるとともに、生理的貧困対策について、各学校や市町とも情報を共有しながら、必要な取組を実施していく。

## ○特別支援学校の教育環境改善と寄宿舎の存続

**問** 新たに制定された特別支援学校設置基準に基づく教室環境の改善について、早期に進めるべきと考えるがどうか。また、那須特別支援学校と栃木特別支援学校に設置されている寄宿舎を今年度末で閉舎する方針が明らかにされたが、存続を訴える多数の県民等の声を受け止め、存続すべきと考えるがどうか。

**答**【教育長】今後、建物の更新の際には、設置基準に合わせた整備を進めていく。また、寄宿舎の設置目的は遠距離生の通学保障とされており、スクールバスの増車により通学が可能と判断し、閉舎を決定したが、今後とも特別支援学校に在籍する全ての子どもたちの自立と社会参加に向け、きめ細かな指導・支援の充実に取り組んでいく。

このほか 新型コロナウイルス感染症の検査体制、医療提供体制の強化、学校給食費の負担軽減など

一般質問 (6/3)  
かとう ゆうじ  
**加藤 雄次**  
(とちぎ自民党)  
[日光市]



## ○難治性疾患に対する新生児マススクリーニング検査体制の確立

**問** 難治性疾患である脊髄性筋萎縮症や重症免疫不全症は、生後すぐの治療が画期的な効果をもたらすため、新生児マススクリーニング検査による早期発見が必要とされる。新しく生まれてくる命をこれらの難病から救うため、希望者全員が費用負担無く検査を受けられるよう、検査体制をしっかりと確立させる必要があると考えるがどうか。

**答**【保健福祉部長】新生児マススクリーニング検査の対象疾患は全国一律であることが望ましいと考えており、国に科学的知見に基づいた対象疾患の拡大と検査結果に応じた支援体制の整備を要望していく。

## ○日光国立公園の魅力向上に向けた取組

**問** 日光国立公園満喫プロジェクトの5か年計画である「ステップアッププログラム 2025」に基づく、奥日光地域の魅力向上に向けた取組を本格化させていくべきと考える。日光国立公園、特に奥日光地域のより一層の魅力向上に向け、今後どのような取組を進めていくのか。

**答**【環境森林部長】日光自然博物館の機能強化に向け、デジタル技術の活用により、雄大な自然等を体感できる展示へのリニューアルに取り組む。また、新たにセルフガイド機能付きの電動アシスト自転車を導入するほか、NIKKO MaaS や体験型アクティビティを広く紹介する動画を作成し、SNSでPRを行うなど、更なる誘客促進を図っていく。

このほか 燃油価格高騰などに対する農業経営の安定対策、観光産業に対する支援など



# 質疑・質問日 令和4年6月1日、3日、6日



一般質問 (6/3)  
こばやし たつや  
**小林 達也**  
(とちぎ自民党)  
[那須塩原市・那須町]



## ○那須高原地域における観光周遊道路の渋滞対策等

**問** 全国有数の観光地である那須高原地域では、行楽シーズンに一部で激しい渋滞が発生しており、対策は喫緊の課題である。観光周遊ルートにはいまだに渋滞箇所や狭い箇所が存在しているが、この解消に向け、どのように対策を図っていくのか。

**答**【国土整備部長】SNSを活用した交通情報の提供や路上駐車対策等に那須町と連携して取り組んでいる。また、県道那須西郷線の池田交差点付近では右折レーンを設置することとし、説明会の開催を予定している。さらに大谷開拓橋付近は、橋梁長寿命化修繕計画も踏まえた整備のあり

方を検討していく。今後とも、ハード・ソフト両面から対策を推進していく。

## ○鳥獣被害対策

**問** 野生鳥獣による農林業被害は、減少傾向にあるが依然高い水準であり、狩猟者の確保・育成を含めて長期的に持続可能な対策を講じるべきと考える。今後、鳥獣被害対策にどのように取り組んでいくのか。

**答**【環境森林部長】令和3年度農作物被害額は減少の見通しであるが、イノシシは繁殖力が強く、捕獲の継続が重要であることから、担い手の確保・育成に努めるとともに、報奨金を増額し捕獲意欲の維持・向上を図る。シカによる林業被害額は増加の見通しであり、新たにICTを活用した技術の実証を行い捕獲作業の効率化・省力化につなげていく。

このほか 県産品・県産農産物の輸出促進、気候変動適応策の推進など



一般質問 (6/6)  
さとう りょう  
**佐藤 良**  
(とちぎ自民党)  
[壬生町]



## ○コロナ禍における少子化対策

**問** コロナ禍において、合計特殊出生率・婚姻数ともに減少するなど少子化が進んでいることから、結婚から子育てまでの切れ目ない支援を行い、安心感の醸成と家庭を築きやすい社会づくりを急ぐ必要があると考えるが、どのように取り組んでいくのか。

**答**【知事】若い世代が結婚に向けて一歩踏み出せるよう「ふたりの未来応援アンバサダー」を任命するなど、効果的な情報発信に努めていく。コロナ禍においても、未来を担う社会の宝である子どもたちを社会全体で育てる環境を整備し、若い世代が結婚や出産を前向きにとらえ、それぞれの夢が実現できるとちぎづくりに全力で取り組む。

## ○アフターコロナを見据えた取組～今後の国際交流・海外誘客の展開～

**問** コロナ禍で海外からの誘客に影響が出ている中、「とちぎ型大使館外交」を契機にベトナムとの交流の機運が高まっている。また、水際対策の段階的な緩和によりインバウンドの早期復活も期待されるが、アフターコロナを見据え、今後どのように国際交流や外国人観光客の誘客に取り組むのか。

**答**【知事】ベトナムとは大使館外交により築いた関係性を生かしながら、オンライン商談会等や経済セミナーの開催により、相互に経済発展をもたらす取組を推進していく。また、インバウンドについて、本県を巡るツアーの造成や販売の促進に取り組むなど、「世界から選ばれるとちぎ」の実現を目指す。

このほか デジタルを活用した農業教育、都市計画道路3・3・901号おもちゃのまち下古山線の整備など



一般質問 (6/6)  
ゆざわ ひでゆき  
**湯澤 英之**  
(新鹿)  
[鹿沼市]



## ○県立学校におけるバリアフリートイレの整備

**問** 必要としている方々に安心な排せつを保障するとともに、災害時などには誰もが気兼ねなくトイレを利用できる環境を整備する必要があると考えるが、県立学校におけるバリアフリートイレの整備に、どのように取り組んでいくのか。

**答**【教育長】トイレの大規模改修時のほか、障害のある児童生徒や教職員の在籍状況等を踏まえ、車椅子使用者等が安心して利用できるバリアフリートイレを設置してきた。その結果、現在、県立学校の8割にバリアフリートイレが設置されている。今後とも災害時などに多様な方々が

利用することも想定し、整備の必要性を検討していく。

## ○自殺対策

**問** 自殺対策においては、個人が置かれている状況や気持ちに寄り添うような支援が非常に大切であり、このような寄り添い型の支援にこれまで以上に積極的に取り組む必要があると考えるがどうか。

**答**【保健福祉部長】県・市町担当職員に加え、医療、教育等の関係者に対する研修を実施するほか、相談につなぐ役割を担うゲートキーパーの市町による養成を支援するなど、地域における相談支援体制の強化に取り組んでいる。今後、各分野における相談窓口等と緊密に連携を図りながら相談者の心のサインをとらえ、個々の状況に応じたより適切な支援に努める。

このほか ベトナム社会主義共和国との交流、健全な学びと学校生活を楽しむ環境の確保など



一般質問 (6/6)  
あべ としかず  
**阿部 寿一**  
(とちぎ自民党)  
[那須塩原市・那須町]



## ○カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ各分野の取組～とちぎ脱炭素先行地域創出プロジェクト～

**問** 今年度、策定を進めるカーボンニュートラル実現に向けた基本構想を市町と連携してとりまとめ、脱炭素先行地域の選定につなげるとともに、市町の主体的な取組を促し、県全体に脱炭素ドミノが展開されることを期待している。とちぎ脱炭素先行地域創出プロジェクトをどのように推進していくのか。

**答**【環境森林部長】栃木市、日光市、那須塩原市における取組をモデル事例として、脱炭素先行地域の創出を

進め、これらモデル事例における取組内容やノウハウ等を基本構想としてとりまとめ、県全体へ脱炭素ドミノを展開していく。

## ○訪問看護ステーションの充実

**問** 超高齢社会の中、高まる在宅医療のニーズに応えるためには、訪問看護ステーションの充実が焦眉の急である。住む場所に制限をされず県民誰もが希望する在宅医療を受けられるよう、更なる訪問看護ステーション設置に向けてどのように取り組もうとしているのか。

**答**【保健福祉部長】設置に係る財政支援、開設希望者への研修、安定的な事業継続に向けた経営能力の強化を図る研修等の取組をより一層推進することで、更なる設置を促進し、在宅医療の充実強化に努めていく。

このほか EVの普及促進、障害者工賃の向上など

## 栃木県議会 議会中継サイトのご案内

### ライブ中継の視聴

本会議(質疑・質問)と予算特別委員会(総括質疑)のほか、本会議(開議、議案上程、採決、散会)をライブ中継しています。

### 録画映像等の視聴

- 過去の議会映像等を配信しています。
- ◇本会議(質疑・質問、開議、採決、散会等)
- ◇予算特別委員会(総括質疑)
- ◇県議会広報番組「県議会ハイライト」など

※広報番組は、テレビ放送後、2週間程度でご覧いただけます。



[第387回通常会議 本会議 代表質問の様子]



栃木県議会 議会中継 会議名一覧

二次元コードを読み取るか、「栃木県議会 議会中継 会議名一覧」と検索してください。



とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)でも  
◇本会議(質疑・質問)  
◇予算特別委員会(総括質疑)  
の生中継を行っています。

また、とちぎテレビでは、  
県議会広報番組「**県議会ハイライト**」  
も放送しています。

【次回の放送予定】  
8月7日(日) 17時30分～18時00分



# 常任委員会の主な活動

6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に属する議案・請願等の審査や事務の調査等を行なっています。

第387回通常会議において所管常任委員会に付託された議案について、6月8日に審査及び採決が行われました。また、6月から8月にかけて県内調査を行いました。

## 県政経営委員会

付託議案6件の審査を行いました。  
 また、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会におけるリスクマネジメントや栃木県権限移譲基本方針の改定などについて、報告を受け、質疑を行いました。  
 7月14日には、移住定住促進やデジタル技術を活用した取組について調査をするため、佐野市及び真岡市において、関係者との意見交換や施設の見学を行いました。



▲デジタル技術を活用した取組について説明を受ける委員

## 生活保健福祉委員会

付託議案4件の審査を行いました。  
 また、パートナーシップ宣誓制度について、報告を受け、質疑を行いました。  
 7月15日には、県立博物館の収蔵庫の状況等や済生会宇都宮病院の救命救急センターの取組等について調査をするため、宇都宮市において、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲済生会宇都宮病院のドクターカーについて説明を受ける委員

## 農林環境委員会

付託議案4件の審査を行いました。  
 また、脱炭素先行地域づくり支援事業や令和4(2022)年度新規就農者調査に関する調査結果などについて、報告を受け、質疑を行いました。  
 7月12日には、ゼロカーボン街区構想やワイン特区を活用した農業の6次産業化の取組等について調査をするため、那須塩原市において、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲ブドウ農園で説明を受ける委員

## 経済企業委員会

付託議案1件の審査を行いました。  
 また、地域企業新事業展開支援補助金や令和3(2021)年度栃木県企業局決算の概要などについて、報告を受け、質疑を行いました。  
 7月21日には、伝統的建造物群保存地区のまちづくりや産業団地の状況等について調査をするため、栃木市及び鹿沼市において、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲伝統的建造物群保存地区拠点施設を視察する委員

## 県土整備委員会

付託議案6件の審査を行いました。  
 また、栃木県減災対策協議会における次期取組方針の策定などについて、報告を受け、質疑を行いました。  
 6月から8月にかけて、県内市町からの道路や河川の整備要望箇所の状況を把握するため、各市町との意見交換や現地視察を実施しました。



▲市町と意見交換を行う委員

## 文教警察委員会

付託議案2件の審査を行いました。  
 7月19日には、栃木県警察航空隊の活動状況と県立真岡高等学校におけるSTEAM教育の推進状況について調査をするため、宇都宮市及び真岡市において、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲栃木県警察航空隊を視察する委員

# 県議会トピックス

## 県民の日記念イベント

県民の日記念イベントが6月11日に県庁で開催されました。  
 県議会議事堂で行われたオープニングセレモニー及びステージイベントでは、県立宇都宮白楊高等学校のダンス部による「いちご一会ダンス」の披露等のいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会に向けたPRや、県警察音楽隊による演奏、とちぎアーティストバンク設立記念コンサートなど多彩な催しが行われました。



▲オープニングセレモニーであいさつする山形修治議長

## いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催100日前イベント

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催まで100日を記念したイベントが6月25日にオリオンスクエア等(宇都宮市)で開催されました。  
 イベントでは、アスリートによるトークショーやいちご一会ダンスコンテストの決勝大会などが行われたほか、開催競技の体験ブース等も設けられ、大会を盛大にPRしました。



▲オープニングセレモニーであいさつする池田忠副議長

## 請願・陳情・要望 ～あなたの声を県政に～



県の仕事についてご意見・ご要望のある方は、県議会に対して、**どなたでも** 請願・陳情・要望を行うことができます。

県議会では、皆様から提出された請願や陳情等を県政運営に反映するよう努めています。

請願	県議会議員の紹介が必要となりますが、全て議会で審議されます。
陳情	県議会議員の紹介は必要ありませんが、各会派から希望があったもののみ議会で審議されます。
要望	議会での審議は行われませんが、各会派や関係議員に周知されます。

※ 提出方法等については、右の二次元コードからご確認ください。



## 次回の通常会議

- 9月16日(金) 本会議(開議、議案上程)
- 21日(水)、26日(月)、27日(火) 本会議(質疑・質問)
- 29日(木) 常任委員会
- 10月13日(木) 予算特別委員会(総括質疑)
- 14日(金) 常任委員会、予算特別委員会(採決)
- 19日(水) 本会議(採決、散会)

※ 予算特別委員会(採決)は午後2時、その他は午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。詳細は県議会HPをご覧ください。

